

年金開始年齢を
引き上げないで



定年しだい
年金開始して



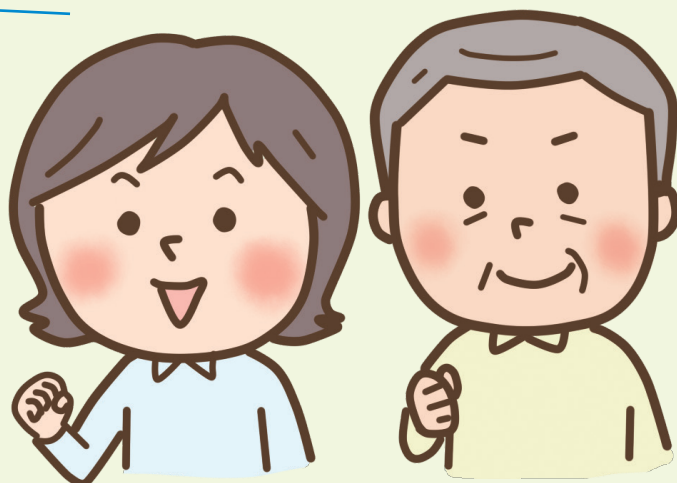
物価上昇を上回る

年金の引き上げを

保険料下げて。
積立金多すぎでは?



最低保障年金制度を
国の責任で!
マクロ経済スライド
やめて!



私たちが安心の年金にしたい

若い人も、高齢者も安心の年金に

物価高騰が続いていますが、2024年度の年金額は物価上昇分にも届かない改定額です。政府は、ただちに年金額を大幅に引き上げるべきです。大企業の利益と内部留保は増大しているにもかかわらず労働者の実質賃金は低下し続けています。不安定雇用の労働者が増え続け、現役世代の賃金水準が下がっていることが問題です。

私たちは、誰もが安心できる年金制度への改善を求めています。政府は軍事費を増大させるため、増税をすすめようとしています。将来に希望が持てる年金制度を実現させるよう署名にご協力ください。

フランスでは
若者も高齢者も
安心の年金を求めてデモ!



年金改革に反対するフランスのデモ (2023年2月)

誰もが安心できる年金制度への 改善を求める署名

請願趣旨

現在の年金制度では老後は大変です。特に、非正規やフリーランスの賃金・報酬は低く、退職金もないまま貯蓄もできずに老後を迎えると、年金受給額は低額となり生活が成り立ちません。また、老齢基礎年金のみだと満額でも月6万8千円程度でとても生活できません。保険料が払えず無年金となる人も少なくありません。一方、公的年金制度に対する将来不安により、iDeCoやNISAの利用者が増大していますが、問題が解決しているわけではなく、それらを利用できる人も限られています。iDeCoやNISAなど多くの場合、拠出は決まっていますが、給付が確定しているわけではありません。年金は、高齢期の生活が保障される制度であるべきです。

国民すべての高齢期の生活を支えるため、公的年金の抜本的な改善が必要ですが、現在の年金制度では老後を安心して暮らせる年金制度とはなっていません。

現状の年金制度を見れば、2024年改定でも物価上昇に追いついておらず、実質マイナスが続いており、年金受給者の生活は苦しくなる一方です。これは物価や賃金が上昇してもマクロ経済スライドが年金額の改定を抑制する仕組みとなっているからです。わたしたちはこのマクロ経済スライドは直ちに廃止することを求めています。また、現行の年金制度が旧来の家族制度のもとに作られており、そのことが女性の低年金問題につながっていると考えています。

したがって高齢になっても安心して暮らせることができ、退職か、働くかを主体的に選べるようにするため、全額国庫負担の「最低保障年金制度」が必要です。また、高齢になって働く場合にも「同一労働同一賃金」の待遇と安全に働ける労働条件が保障されるべきです。

以上のことから、年金制度にかかわって以下の事項の実現を求めます。

請願項目

- 「マクロ経済スライド」を廃止し、物価上昇を上回る支給額に引き上げること
- 年金支給開始年齢を65歳以上に引き上げないこと
- 全額国庫負担による「最低保障年金制度」を早急に実現すること。当面、基礎年金の国庫負担分として月額3.3万円を全ての高齢者に支給すること
- 年金支給は隔月でなく、国際標準である毎月支給とすること
- 年金積立金の株式運用をやめ、年金保険料の軽減や年金給付の充実をはかること

※この署名は国会請願以外の目的で使用しません。氏名・住所の記入欄に「同上」「〇」は不可、住所は番地まで記入をお願いします。

氏名	住所
	都・道 府・県
	都・道 府・県
	都・道 府・県